

～ 第1回 風早現場だより ～

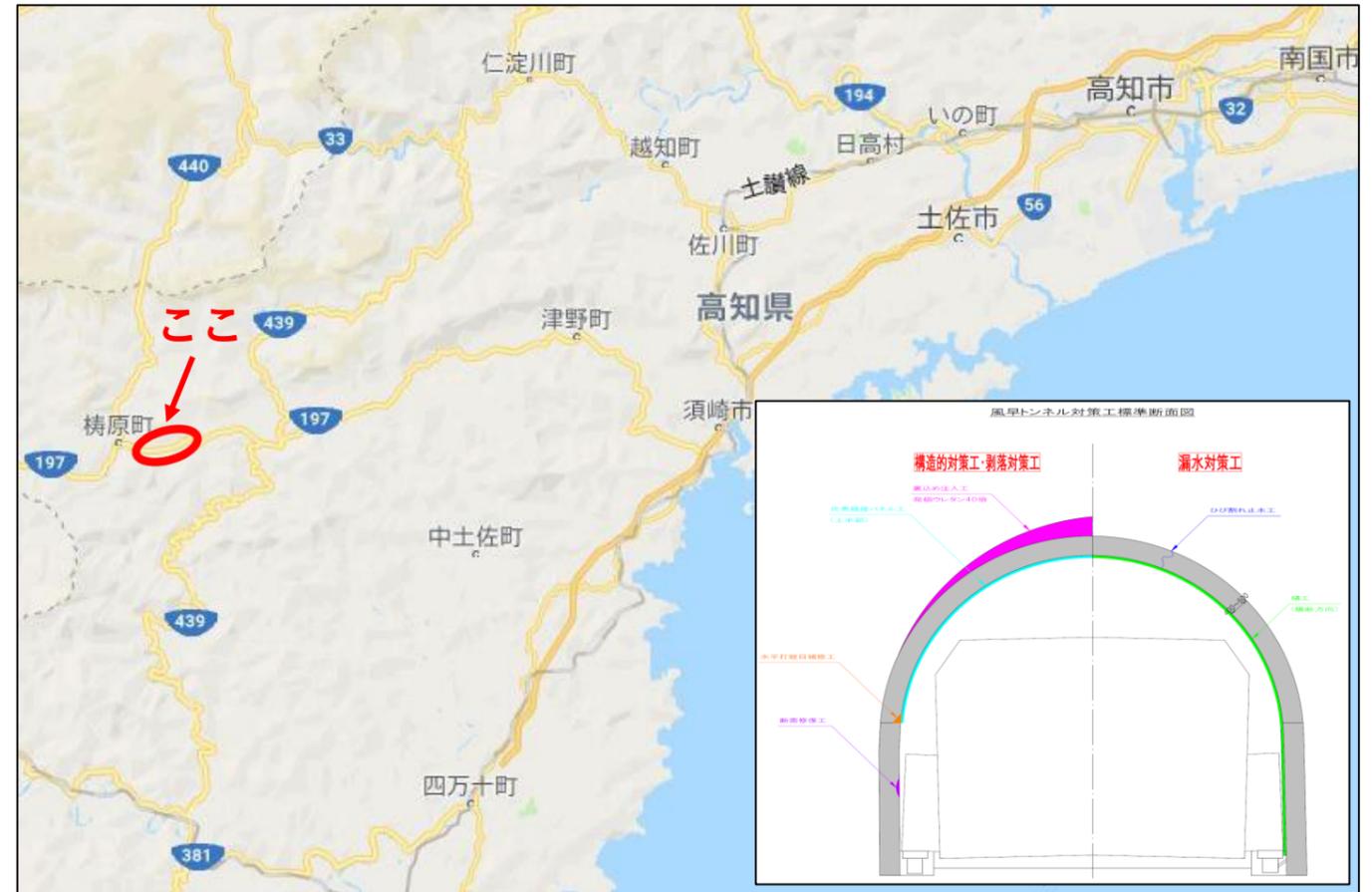
風早トンネル作業所

工事概要

工事名：道交国防安（修繕）第511-004-2号・3号
国道197号防災・安全交付金（風早トンネル）工事
発注者：高知県須崎土木事務所
工事場所：高知県 高岡郡梶原町 梶原東
工期：平成30年8月7日～平成31年3月17日
工事内容：裏込注入工 1式、漏水対策工 1式
剥落対策工 1式、仮設工 1式

事業概要

一般国道197号は、高知県の県都高知市を起点に、高知県須崎市・愛媛県大洲市を経て大分県大分市に至る主要幹線道路です。そして、梶原町・津野町地域の産業・経済・観光或いは広域行政を支える中核的社会資本であると同時に「緊急輸送道路」としての役割を担っています。そのような中で、風早トンネルは昭和47年3月に竣工した延長665mのトンネルですが、すでに46年が経過し、老朽化が進んでいるため平成28年度から修繕工事が行われています。



9月の施工状況

終点側坑口部は谷部進入型であることから、集水地形のため非常に漏水が多くなっています。そのため、施工当時の施工不良による初期欠陥と経年劣化から覆工コンクリートのひび割れや剥離・剥落が極めて多く、漏水対策工であるひび割れ止水や剥落対策工である断面修復に多くの時間を費やしています。

ひび割れ止水の目的

コンクリートのひび割れから湧水の落下を防止し、通行車両の安全性を損なわないようにします。また、寒冷地であることから漏水によってツララや側氷が生じないようにします。

断面修復の目的

外観調査および打音調査などからコンクリートの剥離・剥落部や浮き部を確認し、コンクリートの劣化部分をハツリ除去し、新たに断面修復材にてコンクリート断面を復元します。